



現状と課題

- ◆表層的な知識はあるが、社会的事象の意味や意義、空間的・量的概念や読解力の不足により、歴史的な背景や解決までの経緯を想像した深い理解には及んでいない
- ◆地域に関する経験が少なく、自分たちとの関連性を捉えられない
- ◆学習への姿勢がより主体的になる体制づくりが必要
- ◆自分の意見の発表と情報交換で、知識や見解を統合させる機会が必要



達成目標

- ◆郷土（和光市及び埼玉県）について、土地の魅力、人々の営みや現在に至る体制作りを知り、地域民としての自覚と誇りをもつ。
- ◆社会生活の成り立ちと、それらを構成する物的・人的要素を理解する。
- ◆我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てる。
- ◆国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者たる公的資質を養う。



取組の重点

- 1 児童が日常的に利用する地域の施設が、学習におけるより深い理解や意欲となって定着するよう、他学年（1～2年の生活科）や他教科との関連を意識した教育課程を作成する。
- 2 特色ある学習課題の提示で見通しをもたせ、自力解決や見学・調査の活動時間を確保し、様々な視点からの意欲的な学習につなげる。
- 3 言語活動の充実を図り、考えを発表したり友達の考えを聞いて質問したりして、個と集団の学びを発展させる。
- 4 学習を振り返らせることで、理解や思考の深まりを確かめ、充実感を持たせる。



学習の流れ

1 課題把握⇒焦点化

- ◇学習内容の把握
- ◇前時の振り返り
- ◇既習事項の確認
- ◇学習課題の把握

2 自力解決⇒個別化

- ◇見通しを持つ
- ◇既習事項の活用
- ◇根拠のある予想
- ◇調べ方や観点の明確化

3 少人数学習⇒共有化

- ◇見学、調査、体験学習
- ◇考えを整理した発表
- ◇友達の考え方の理解
- ◇相互の学び合い

4 全体学習⇒共有化

- ◇多様な考え方の理解
- ◇比較、類推、考察
- ◇相互の深め合い
- ◇集団での課題解決

5 まとめ⇒定着化

- ◇学習の振り返り
- ◇自分の言葉でのまとめ
- ◇学習内容の定着
- ◇自己評価、相互評価

学習環境の整備

- 地域の歴史やくらしなど、地域教材の積極的な活用
- ICTの効果的・積極的な活用
- 図書館の活用と教材教具の工夫改善
- 地域人材の活用と連携

言語活動の充実

- 資料の読み取り活動の充実
- 予想や考え、調べて気が付いたことなどを書く活動の充実
- コミュニケーションの時間の確保と、話す・聞く視点の明確化
- 学習の流れがわかるノート指導

他教科等との関連

- 他教科や日常生活における社会や地域と関連付けた学習の充実
- 社会の変化や歴史の移り変わり等、他の学習への積極的な活用
- 互いのよさを認め合う道徳や特別活動との効果的な連携

家庭学習の定着

- 予習や復習など、発達段階に応じた家庭学習の習慣化
- 主体的に取り組む宿題の提示と見届け・確認
- 自主的・発展的な取組の充実
- 保護者の理解と協力